

## エピローグ

全ての謎を解いて、無事にシェフのもとへ魔法のスパイスを届けたきよっち。

「これでスープが作れるよ!ありがとう、きよっち!」

シェフがポーラスターのミルクスープを作り始めると、スパイスの香りが立ち込め、まるで森の恵みが詰まったかのような美味しそうなスープが完成しました。

レストランがオープンすると、たくさんのお客さんが訪れ、スープを楽しみました。きよちは、みんなの笑顔を見て心が温かくなり、幸せな気持ちでいっぱいになりました。

「これからも、みんなのために美味しい料理を作り続けるよ!」

こうして魔法のスパイスは「幸せの象徴」となり、森の中で語り継がれることになったのでした。

